

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	今までの施設の日課などに囚われて、研修や勉強会で得た知識や情報を上手く利用できておらず、認知レベルの低下やADLの低下などの利用者の状態変化に応じた自立支援を目標としたサービスの提供が効率的に行えていない。	①職員意識の改革 ②利用者各自の残存機能の見直し	①現在求められてる認知症ケアについての勉強会の開催(認知症実践研修の内容など) ②外部研修への参加 ③外部施設の見学 ④モニタリング・アセスメント更新時、内容の検討を現状よりも残存機能の保持を目標とした視点で行ない、プランの更新もしくは変更を行なう。	12ヶ月
2	2	事業所が地域の一員として、日常的に交流できるような関係性が築けていない。	①地域との関係性を築けるきっかけを作る。	①年に一度、地域に向けた認知症サポーター養成講座を開催する。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。